

製品名: EF-1 γ ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab10313

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	EEF1G
別名	EEF1G; EF1G; Elongation factor 1-gamma; EF-1-gamma; eEF-1B gamma
遺伝子 ID	1937.0
SwissProt ID	P26641
免疫原	抗血清はヒト EEF1G 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

背景

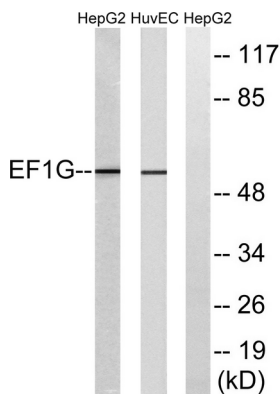
真核生物翻訳伸長因子 1 ガンマ (EEF1G) ホモ・サピエンス この遺伝子は、アミノアシル tRNA をリボソームへ酵素的に送達する伸長因子 1 複合体のサブユニットをコードしている。このサブユニットは N 末端グルタチオントランスフェラーゼドメインを含み、こ

のドメインは、この伸長因子とアミノアシル tRNA 合成酵素を含む多サブユニット複合体の組み立ての制御に関与している可能性がある。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能:おそらく複合体を他の細胞成分に固定する役割を果たしている。 ,類似性:1つの EF-1- γ C 末端ドメインを含む。 ,類似性:1つの GST C 末端ドメインを含む。 ,類似性:1つの GST N 末端ドメインを含む。 ,サブユニット:EF-1 は、アルファ、ベータ、デルタ、ガンマの 4つのサブユニットで構成される。 ,組織特異性:膵臓腫瘍組織で高く発現し、正常な腎臓、腸、膵臓、胃、肺、脳、脾臓、肝臓ではそれほど高く発現していない。 ,

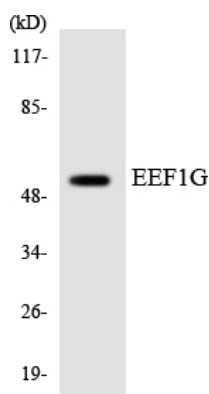
研究分野

-

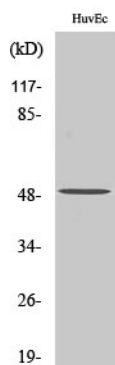
画像データ



EEF1G 抗体を用いた HUVEC および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



EEF1G 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した EF-1 γ ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析